

姿、ペタンクなど楽しんでいる地域の皆さん、活気が戻つて来ていることを実感します。コロナ禍でも活動を休止することなく役割を全うしてきた生活環境部会ですが、今年度も部会員を中心として、愛宕公園の草刈り清掃（年3回）、グランド草取り清掃（年2回）、花北振興センターのプランター花植え活動を計画通り取り組むことが出来ました。これらの取組みに於いては桜台学童クラブさんや地域の多くの方々のご協力がありました。改めて感謝申上げます。

一方、各地域の共通の課題となつている「分別されてないゴミ・市で回収されないゴミ」の搬出が後を絶ちません。残されたゴミの処理を行う担当者の苦労も大変です。集積所を利用される方々のモラル・意識と行動に頼らざるを得ない現状があります。明るく住みよい環境づくりに、地域の皆さんと一緒に考え、取り組んで参りたいと思ひます。

◆教育文化部会
部会長 松田 邦廣
令和5年度の教育文化部会の事業について報告致します。

「盆栽を楽しむ会」は6月と9月の2回実施、今年度はサツキ盆栽インス

トラクターの菅原武見氏を迎えて本格的な知識を教えて頂きました。準備した台本もしっかりと物で姿形や整肢に丁寧な指導をして頂きました。

花北地区文化祭は、コロナ禍明け2年目、通常開催で茶道やつるし飾り等も復活し、来場者数も400名を超える盛況となりました。併せてステージ発表会も好評でした。

市民憲章大会は、今年は文化会館にて開催され部会から3名の参加がありました。講演では、世界の平和には一人一人の優しさが必要であること、そ

の繋がりが大切であること等有意義なお話を聞くことができました。

今年度最後となる教育文化事業となる新春花北寄席は2回目の開催です。

北上本牧亭の出前寄席で、講談・神田陽春、落語・三遊亭歌奴両人の本場の話芸に観客一同じっくり堪能したところです。昨年同様出演者の色紙を抽選で4名の方にお渡し致しました。昨年を上回るたくさんの観客数でした。今後も伝統芸能の鑑賞には力を入れて行きたいと考えています。

◆保健体育部会
部会長 牛崎 弘
令和5年度の保健体育部会の事業について報告致します。

11月12日(日)に行われたニュースボーッ大会の結果を記載しながら、令和5

年度の活動報告をいたします。

コロナウイルスのため、昨年度まで

3年間行事を中止しており、今年は4年ぶりに行事を再開することができました。参加者の皆様に敬意を表し、来

くさんの方に参加して頂いただけるよ

う、前号で記載した課題を克服する

ユニカールの様子



ユニカールの様子
で記載した課題を克服する
ユニカールの様子

11月25
日には昨

年1月25
日には昨

回全体会議での事業計画の確認から始まりました。

6月10日の防災無線機器保守点検講習会では、無線機の保守点検及び操作について学び、毎月11日には交信訓練を実施しています。

秋の交通安全啓発活動では、9月24日に花巻神社鳥居前にて、早めのライ

ト点灯の啓発活動を行いました。

また、花北文化祭では、作品展示か

ら撤去までの応援、10月21日からは各

自治会単位で交通安全施設点検の実施。

11月25
日には昨

年1月25
日には昨



AED使用練習の様子

実施し、AEDの使用について学ぶ良い機会となりました。

豪雨や地震などの自然災害が頻発している昨今、地域の皆さんにも交通安全部会もより、自主防災意識も今まで以上に高めてもらえるよう、今後も活動していくかと思います。

地区だより

動き出した地域活動

星が丘二丁目 伊藤 修

新型コロナ感染が5類移行となり、しばらく自粛していた地域活動が少しずつ動きだしているこの頃ですが、星が丘一丁目の今年度の特徴的な活動を二つ紹介します。



一つ目は初めて子供神輿が地区内の巡行を行ない、住民から喜ばれ、さらには花巻まつりにも続けて参 加し活躍しています。

以前から話はあったのですが、コロナ禍となり中断してしまいました。しかし5類移行後に実行委員会ができ、子供会の協力を得て巡行のはこびとなりました。

朝市歩行者天国

一日市 伊藤和朗

子どもも大人も「ワッショイ、ワッショイ」と大きな声を出し楽しく巡回できました。終了後に子ども達は「来年も参加したい」と積極的に語つてくれました。

れ、それを聞いた大人達は嬉しく感じ、さらに盛り上げていかなければという様子が伺えました。

二つ目は「地域での自主防災活動について」というテーマの講話を自主防災活動として行ったことです。



昨年は花巻地域も大雨で何度か避難指示の発令がありましたが、

自主防災会

としていざとなつた際の対応、対策を知つておく必要があると考え、花巻市防災対策監の白井雅高氏より講話をして頂きました。大勢の参加者があり、「いろいろな災害発生時の花巻市の対応方法について知ることができ良かったです」という感想もありました。

今後の自主防災活動に生かせる会が実施され良かつたと感じます。

に感謝申し上げます。

歩行者天国の方はまず令和4年10月にお試し

開催を行う好評価を得て自信を深め、令和5年の完全実施を迎えることにな



り、街では店前の歩道等を清掃して待つ姿も見られました。全ての回が天気に恵まれたこともあり車道を行き来する子供連れの方、カートを押すお年寄りの方、老若男女多数が行き来する光景が見られました。出店側もカレーや唐揚げ等のキッズンカーレでの物販、花北星雲高や花巻農業の生徒達によるスイーツ

展するための糧にいたいと肝に命ずるところです。

雑感

坂本町 川村 優介



複数の受講者が集う「盆栽を楽しむ会」という会が存在しますが、その名称にあやかり、この総務企画部も「凡才を楽しむ会」と称し、熟練された文豪ばかりではなく、凡庸な詩人たちが「凡才を楽しむかい?」などと気軽に声を掛け合う集う会であるならば、どれだけ気が楽になることでしょう。

会報誌への寄稿が求められるこの部会への参加に関しては、希望名人ゲーテの様に前向きにはなれず絶望名人のカフカの様にどうしても尻込みしてしまいます。

などもあり賑わいました。また、アンケート調査を行い、来場者が宮野目・小瀬川・南万丁目・石神・大町などと広域であったこと、出店品目の要望等を知ること

ができたのもありがとうございました。また、アンケート調査を行い、来場者が宮野目・小瀬川・南万丁目・石神・大町などと広域であったこと、出店品目の要望等を知ること

急進する高齢化に加え、役員の担い手不足も重なり、パソコンができるという理由だけで、私は今期から町内会の総務部に所属する事に至つた訳ですが、役員選考会の際、たとえ嘘でも、私はパソコンもスマホも使いこなせず、使用しているのは未だガラケーですとお応えし、この苦い役を引き受けなければよかつたなあと半ば後悔している次第です。

G P Tが登場し、その脅威がもたらす機能の便利性について世間では早くも物議を醸しました。それにしても、近年の生成A I技術の急速的な進歩には目覚ましいものがあります。ギリシャ神話でかつてプレメテウスが人間に与えた火と同様に、未来は人間がチャットG P Tと協議を交えながら物事を決めるという状況が当たり前のようない時代になるかも知れません。

然しながら、このチャットG P Tの活用においては懸念される点も指摘されており、自力で物事を決められない怠惰な人間の増殖はおろか、先達の智慧の拝借や交流の機会を蔑ろにする向きが出てくるかもしれません。

令和5年度は、コロナ渦により暫く遠ざかっていた地区行事も再開の兆しを見られていましたが、急進する高齢化に伴う役員の担い手不足、増加する

空き家問題等、町内会が抱える悩みは尽きる事がありません。又、所得水準や生活環境の多種多様化も相まって、急速に変容を遂げる現代は時宜に適ったコミュニケーションの取得が必然であるように思えます。

バス研修旅行に参加して

四日町一丁目二区 松田悦子

10月19日、花北地区コミュニティ協議会主催の1日バス研修旅行に参加しました。朝からお天気もよく旅行日和と思いながら家を出ました。日頃は顔を合わせても会話をしたこともない人もいたり、1年振りにお顔を見て元気でよかったですと安心したり、初めての方もおられて同じ地区の方だと思い、楽しい1日となりました。ガイドさんも馴染みの方で、親しく感じました。

バスは花巻インターから高速道路に乗り、紅葉にはまだ少し早いようでしたが左に見える岩手山や右に見える姫神山が微笑んでいるように感じられました。途中で八戸道に別れを告げ秋田方面へと向かいました。八幡平や二戸の天台寺の住職を務めた瀬戸内寂聴さんの話をガイドさんから聞きながら参加者それぞれに久し振りのバス旅行を楽しみ会話を弾んでいました。程なく

秋田県に入り右に岩手町を源流とする米代川を眺めクマに遭わないことを願いながら小坂町に入りました。ガイドさんが「今日は皆さんお天気も良く精進が良かったのですね」と持ち上げられながら鹿角市に入った途端、狐の嫁入りに会い、傘を持っていなかつた私は「しまった！狐に騙された」と後悔しました。

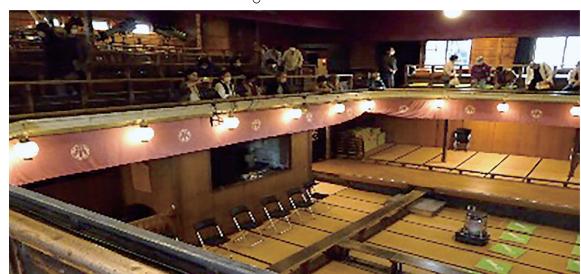
最初の観光地は、1300年の歴史を誇る鉱山で洞窟の中を40分かけて歩きました。日本三大鉱山に並び称されたほどになつた遺産を残した秋



坑道を見学する参加者

開いた大島高任の写真が飾ってあります。隣の鉱山事務所も素晴らしいです。

何度か狐に騙されたような旅行でしたが、バスの中のテレビに映る花巻電鉄や台温泉の風景を眺めながら帰途につきました。



康楽館の芝居小屋の中

◆編集後記

総務企画部の皆様、来年も多くの方と再会できる旅行を企画して頂ければ嬉しいです。

新年早々の石川県能登半島地震のニュースに心を痛めるとともに地域コミュニティの大切さについて改めて考えさせられました。今号発行に際し、お忙しい中寄稿いただいた皆様並びにスタッフの方々に感謝申し上げます。